※令和４年度以降入学生用

学校番号	316

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「詳説日本史」　（山川出版社）						
副教材等	新詳日本史　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史は過去を振り返るためのものだけではありません。皆さんは、市民社会の形成者としてこれからの社会のあり方や、国際社会とどう関わっていくのかを考えなくてはなりません。そのためには自分が今、生きている社会がどのような経過を経て成立しているのかを知ることが重要です。日本が歩んできた歴史を多角的に理解し、市民社会の形成者として、自分なりの未来への展望を持つことができるよう日本史探究の授業で学習しましょう。

2　学習の到達目標

① 日本史の「流れ」を明確に把握し、様々な探究学習に必要な基本的な歴史事象をしっかりと理解する。
② 歴史を教科書の記述で理解するだけでなく、地図等を用いた空間的な把握、各種資料の読み取りなども重視する。また歴史史料に積極的に触れ、歴史史料から推測できることを把握する。
③ 歴史に関する自分なりの見解を確立し、それを表明できるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	① 日本史を理解するために必要な歴史的経過、各種の事象・用語を理解しそれを定着させる。 ② 地図による空間的理解を高め、各種資料を読み解く能力を身につける。 ③ 重要な歴史史料を読解することによりその史料の歴史的意義を把握するとともに、各種史料の読解能力を高める。	① 重要な歴史的な事象が起こった理由、その事象が後の時代に与えた理由を考え、それを適切に表現できるようにする。 ② 世界史との関わりで日本の歴史を把握し、それを説明する能力を身につける。 ③ 授業で学んだ内容を元に、これからの日本社会・国際社会のあるべき姿を考察させる。	① 日本史の学習で学んだ内容で、自分が強い関心を持つことができた分野について、自ら調べその内容を適切に表現できるようにする。 ② 生徒自身の「学び」を高めるだけでなく、日本史を学ぶ仲間とともに高め合うような姿勢を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	原始古代	1.　日本文化のあけぼの 2.　古墳とヤマト政権 3.　律令国家の形成 4.　貴族政治の展開	a:日本文化が成立する自然的・文化的条件を理解する。古代国家の成立過程と古代国家の諸制度を理解するとともに、その崩壊過程についても把握する。 b:日本文化の独自性と世界史的な共通性を考察し表現する。古代国家の崩壊の中に見ることができる、新しい時代の萌芽を見つけ出しそれを表現する。 c:原始・古代の日本のあり方を示す地域の遺跡・遺構など、強く関心を持つテーマを定めて調査・発表を行う。	中間考査 期末考査	中間考査 期末考査	振り返りシート 提出物等
	中世	1.　院政と武士の躍進 2.　武家政権の成立	a:中世社会の重層的な構造と武家社会の成立・発展を理解するとともに、古代の文化とは異なる新しい文化の様相を知る。 b:武家政権が成立した理由とその背景について考え表現する。 c:地域の地名や地形を観察、そこから伺うことができる中世社会の様態などについて調査・発表を行う。	中間考査 期末考査	中間考査 期末考査	振り返りシート 提出物等
２学期	中世	3. 武家社会の成長	a:武家政権の変化と戦国時代の概要、この時期の日本とアジア諸地域との関係を理解する。 b:この時期の庶民が、いかに政治的・文化的台頭を果たすか考察し表現する。 c:この時期の文化で、それが現代の日本文化の源泉となっているものについて調べ発表を行う。	中間考査 期末考査	中間考査 期末考査	振り返りシート 提出物等

※令和４年度以降入学生用

	近世	1.　近世の幕開け 2.　幕藩体制の成立と展開 3.　幕藩体制の動揺	a:近世社会の萌芽となる織豊政権期の特徴を理解する。また幕藩体制の成立・発展からその衰退までの歴史的過程を把握する。 b:近世における国際関係の変化の中、日本が直面していく諸課題について考察し表現する。 c:幕藩体制下の経済・社会で発生する各種の矛盾を調べ発表する。	中間考査 期末考査	中間考査 期末考査	振り返りシート 提出物 等
2学期	近代・現代	1.　近世から近代へ 2.　近代国家の成立	a:幕末期の複雑な政治状況・国際関係を整理して理解する。また明治維新以降の日本の近代国家へ向けての歩みを概観する。 b:急激な開国と本格的な貿易の開始がもたらした諸問題について考察し表現する。 c:江戸時代の人々の生活と、明治維新以降の人々の生活を比較、その変化と変化の理由を発表する。	中間考査 期末考査	中間考査 期末考査	振り返りシート 提出物 等
3学期	近代・現代	1.　近代国家の展開 2.　近代の産業と生活 3.　恐慌と第二次世界大戦	a:日本の近代国家の成立と産業の発展、日本が第二次世界大戦に参戦することになった経緯を理解する。 b:日本の政治が軍部に主導され戦争に向かっていく過程で、特に大きな影響を与えた出来事を取り上げ、それについて考察し表現する。 c:地域に残る戦時体制や戦争の遺構や記録を調べ発表する。	学年末考査	学年末考査	振り返りシート 提出物 等

※令和４年度以降入学生用

３学期	近代・現代	1. 占領下の日本 2. 高度成長の時代 3. 激動する世界と日本	a:敗戦後の日本が復興、経済成長を遂げる過程、日本が東西対立を基調とする国際社会の中で、西側陣営に政治・経済・軍事的に組み込まれていく過程を理解する。また冷戦期以後の国際社会における日本の立ち位置を確認する。 b:戦後の日本が高度経済成長を遂げ、第１次・２次石油危機以降に「経済大国」と言われるようになった理由を考察し表現する。 c:高度経済成長期の日本と、「バブル経済」の崩壊以降の日本がそれぞれ抱える課題を調べて比較、その違いについて発表する。	学年末考査	学年末考査	振り返りシート提出物等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度